

 日本電技株式会社

Financial Results

2027年3月期第1四半期 決算補足資料

2026年7月24日

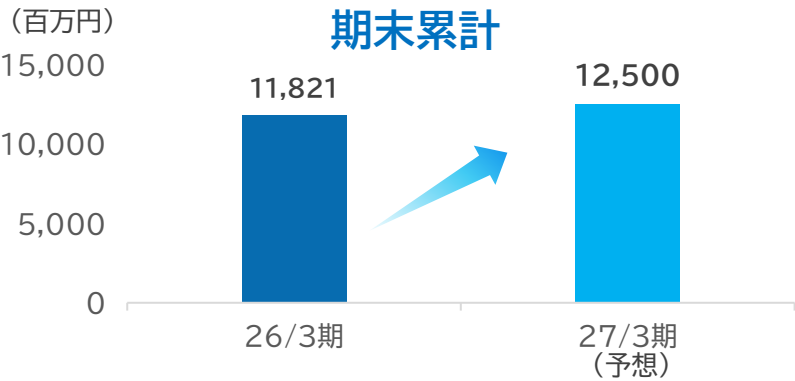
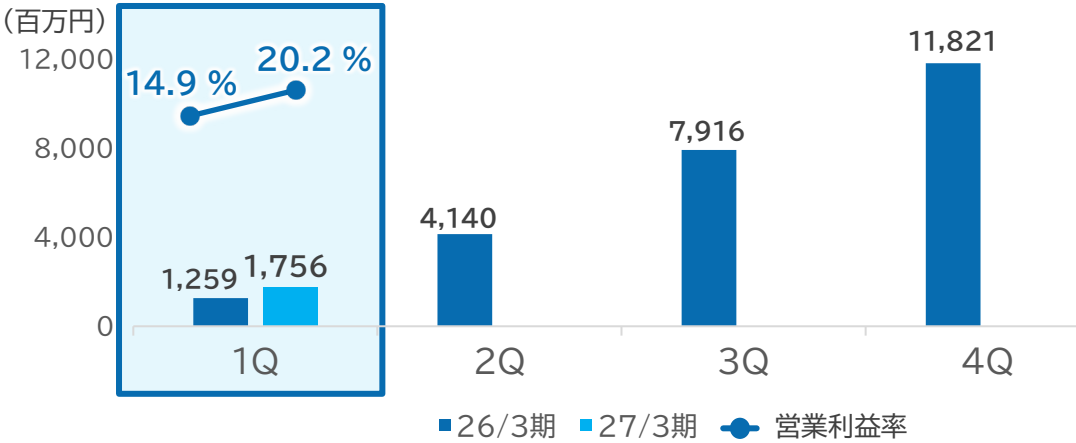


- ▶ 空調計装関連事業および産業システム関連事業の売上増により増収。
- ▶ 利益面は旺盛な建設需要による売上増や、利益率改善努力による収益性向上により、対前年比大幅増加。

連結損益計算書

	26/3期 1Q		27/3期 1Q	
(百万円)	実績	実績	前期比増減	前期比増減率
売上高	8,424	8,696	272	3.2%
売上総利益	3,551	4,086	535	15.1%
売上総利益率	42.2%	47.0%	4.8%	—
営業利益	1,259	1,756	496	39.4%
営業利益率	14.9%	20.2%	5.3%	—
経常利益	1,353	1,911	557	41.2%
当期純利益	931	1,298	366	39.3%

営業利益の推移





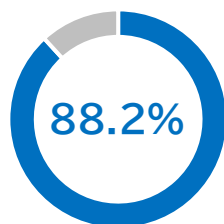
空調計装関連事業

受注高 14,776百万円

売上高 7,667百万円

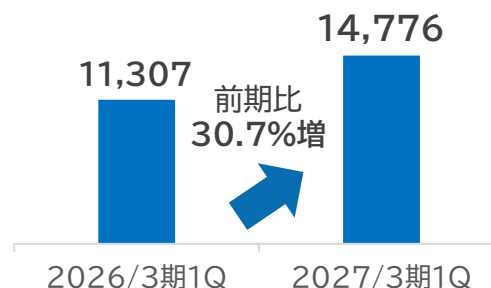
- 受注高:工場及び宿泊施設向け物件等の新設工事、工場及びデータセンター向け物件等の既設工事が増加。
- 売上高:工場及び医療施設向け物件等の新設工事が反動減。工場及び事務所向け物件等の既設工事は増加。

売上高構成比



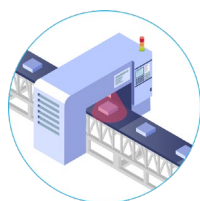
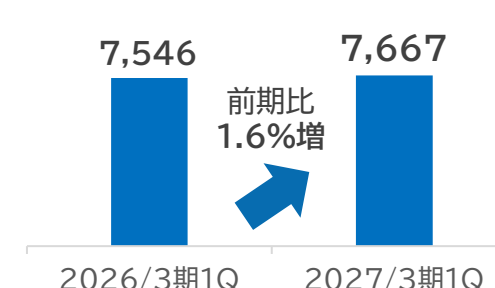
受注高

(単位:百万円)



売上高

(単位:百万円)



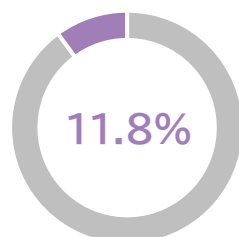
産業システム関連事業

受注高 1,195百万円

売上高 1,028百万円

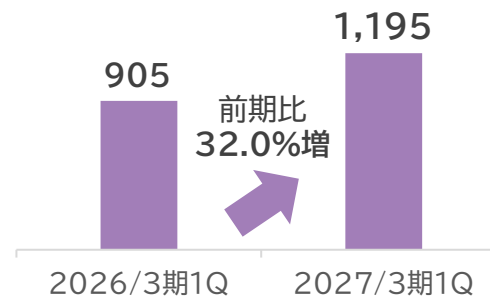
- 受注高は生産設備付帯工事及び電気工事等が増加。売上高は電気工事及びソフトウェアが増加。

売上高構成比



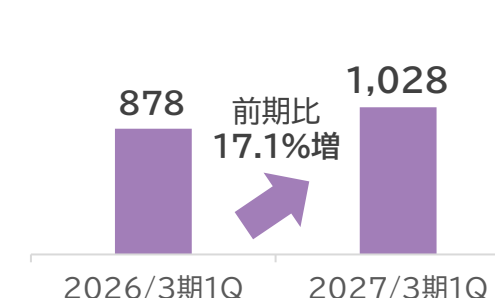
受注高

(単位:百万円)



売上高

(単位:百万円)



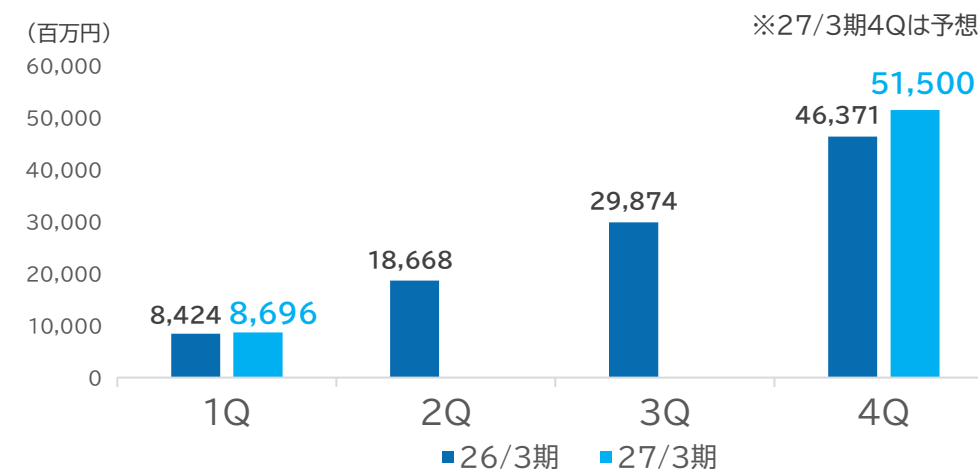


◀ 空調計装関連事業、産業システム関連事業ともに増加。空調計装関連事業の新設は反動減となった一方、既設は増加。

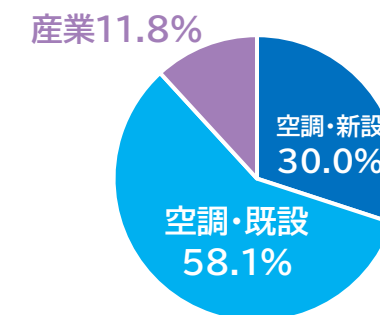
セグメント別 売上高

	26/3期1Q	27/3期1Q		
(百万円)	実績	実績	前期比増減	前期比増減率
空調計装関連事業	7,546	7,667	121	1.6%
新設	3,684	2,612	▲1,072	▲29.1%
既設	3,861	5,055	1,194	30.9%
(セグメント利益)	2,483	2,829	(345)	(13.9%)
産業システム関連事業	878	1,028	150	17.1%
(セグメント利益)	106	209	(102)	(96.4%)
合計	8,424	8,696	272	3.2%

売上高の推移



構成比(27/3期1Q)



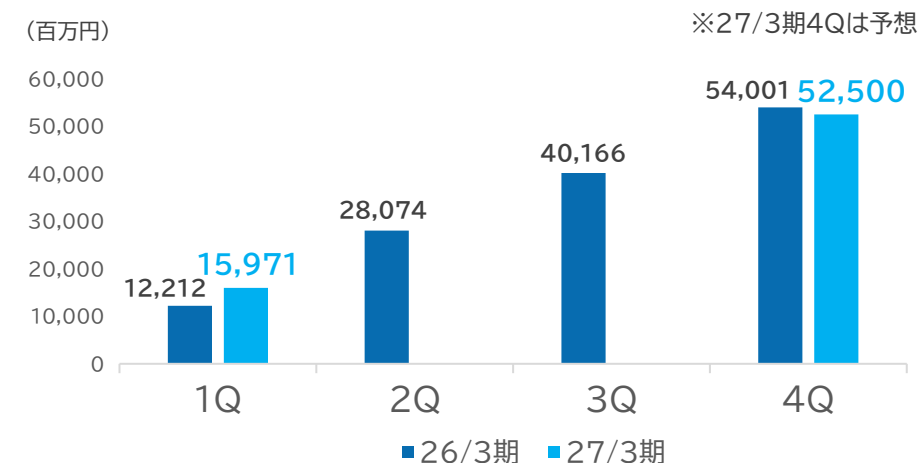


◀ 施工余力を勘案した受注活動を実施しているものの、旺盛な事業環境を背景に増加。

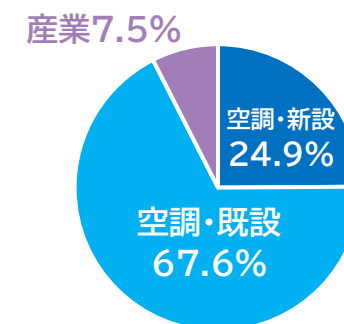
セグメント別 受注高

	26/3期1Q	27/3期1Q		
(百万円)	実績	実績	前期比増減	前期比増減率
空調計装関連事業	11,307	14,776	3,468	30.7%
新設	2,719	3,978	1,259	46.3%
既設	8,588	10,797	2,209	25.7%
産業システム関連事業	905	1,195	290	32.0%
合計	12,212	15,971	3,758	30.8%

受注高の推移



構成比(27/3期1Q)



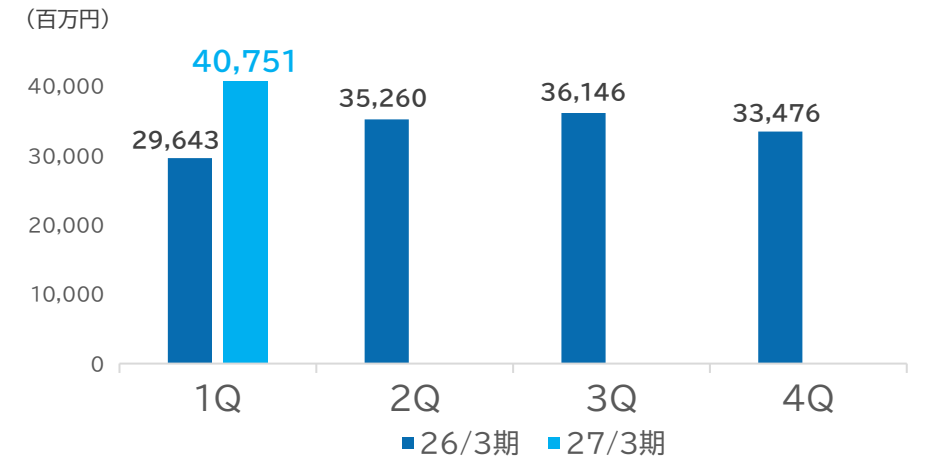


◀ 繰越工事高も依然として高い水準で推移。

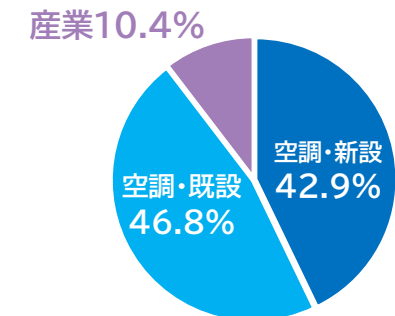
セグメント別 繰越工事高

	26/3期1Q	27/3期1Q		
(百万円)	実績	実績	前期比増減	前期比増減率
空調計装関連事業	26,648	36,529	9,881	37.1%
新設	12,123	17,474	5,351	44.1%
既設	14,525	19,055	4,529	31.2%
産業システム関連事業	2,994	4,221	1,226	41.0%
合計	29,643	40,751	11,107	37.5%

繰越工事高の推移



構成比(27/3期1Q)





本資料ならびにIRに関するお問い合わせ等がございましたら、
日本電技株式会社 経営企画部までご連絡ください。

Tel 03-5624-1100

Mail contact@nihondengi.co.jp

URL <https://www.nihondengi.co.jp/>

当資料に記載されている日本電技の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた日本電技の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。